

1. 大久保駅周辺地区整備構想の目的と策定までの経緯

(1) 目的

大久保駅周辺地区は、宇治市第4次総合計画※において『広域拠点』に位置付けられており、宇治市の南の玄関口にふさわしいにぎわいのあるまちづくりが求められています。

一方この地域では、幹線道路の慢性的な交通渋滞をはじめ、歩行者が安心して歩ける歩行空間の不足やバリアフリー※化の対応不足など多くの課題を抱えています。

この整備構想は、こうした課題の解決策に加え、地域資源を活かしたまちづくりを進めるための目標や整備方針を定めることを目的としており、今後はこの整備構想にもとづいて大久保駅周辺地区のまちづくりを進めることとしています。

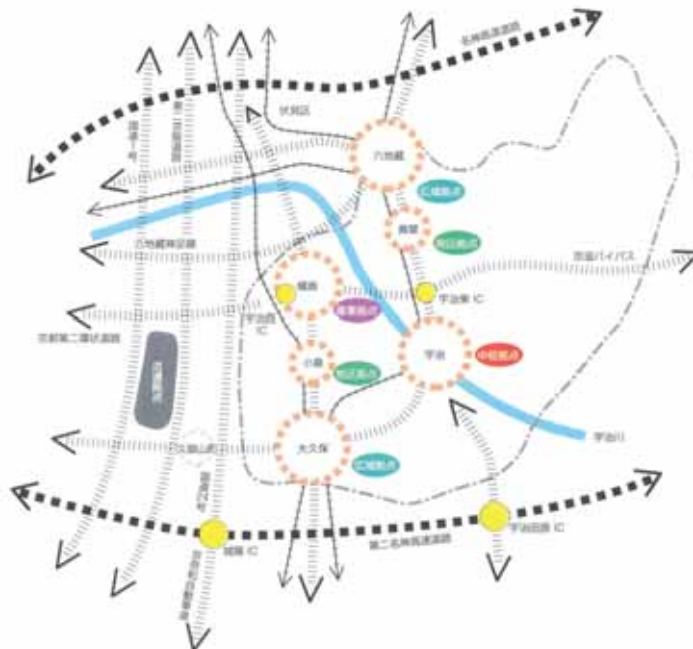
(2) 上位・関連計画における本地区の位置付け

1) 宇治市第4次総合計画

宇治市第4次総合計画においては、大久保地区（大久保駅周辺地区を含む一帯）を『広域拠点』として位置付け、次のように整備を促進することを定めています。

広域交通ターミナル、商業・業務施設等広域的な拠点にふさわしい面的な整備を促進します。

図1-1 将来都市構造



資料：宇治市第4次総合計画

2) 宇治市都市計画マスタープラン※

宇治市都市計画マスタープランにおいては、近鉄大久保駅周辺を南部の『広域拠点』として位置付け、大久保地域（大久保町・伊勢田町・広野町・羽拍子町・開町・寺山台・神明）の地域づくりのテーマと整備方針を次のように定めています。

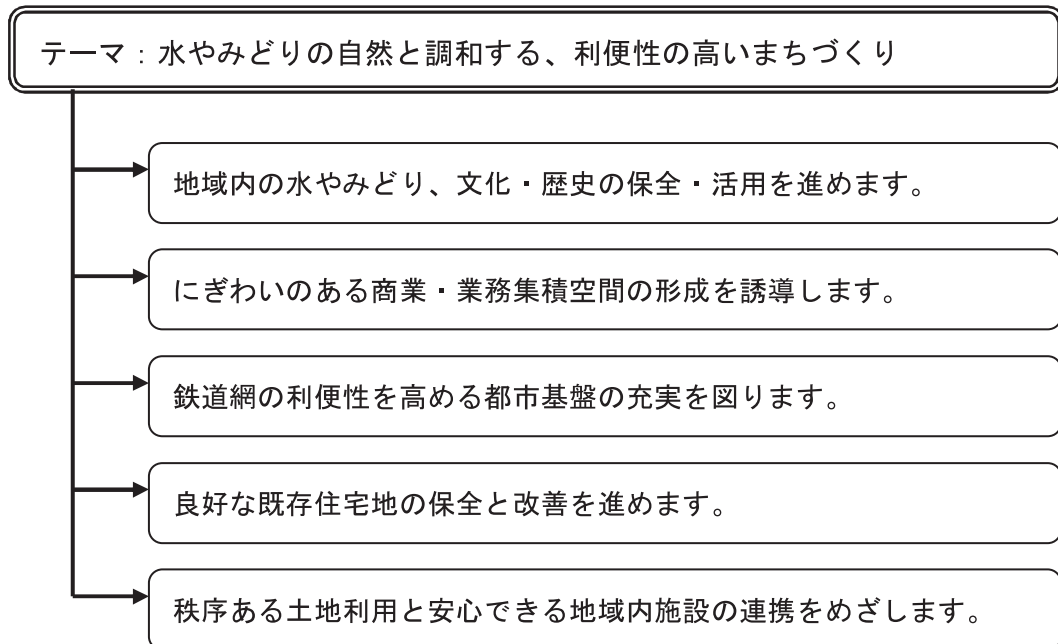
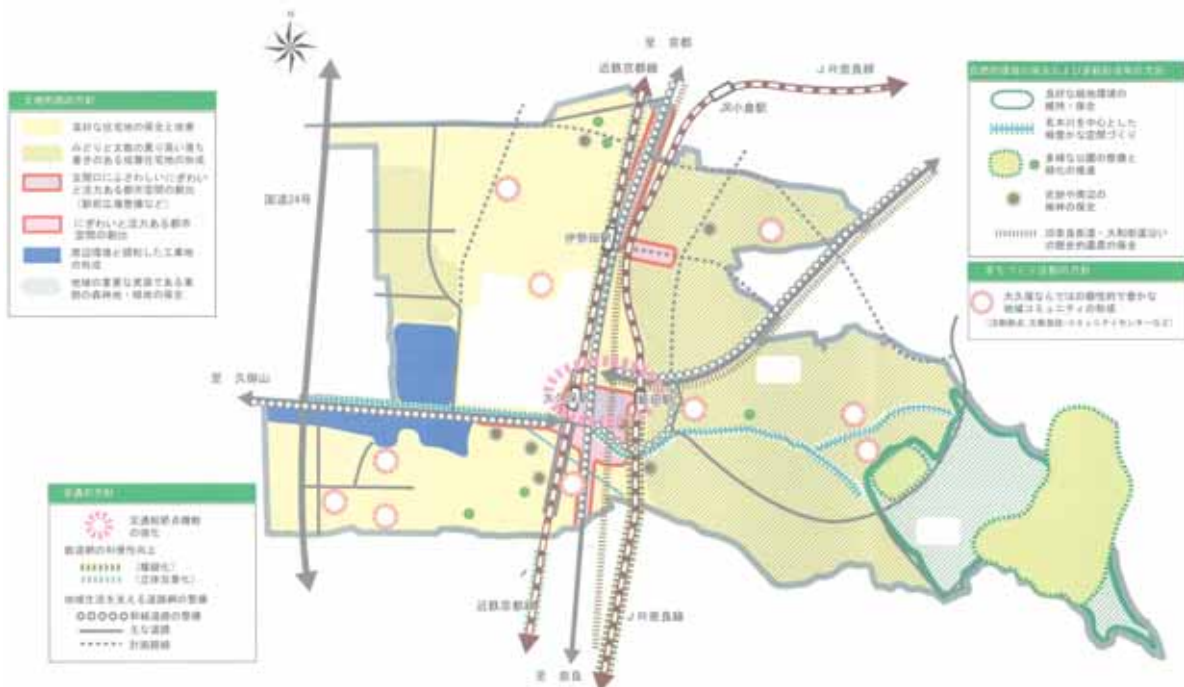


図 1-2 大久保地域 地域づくり基本方針図



資料：宇治市都市計画マスタープラン

3) 宇治市交通バリアフリー全体構想※

宇治市交通バリアフリー全体構想においては、大久保駅周辺地区（JR新田駅、近鉄大久保駅）を『重点整備地区』として位置付け、平成22年度を目標に駅や周辺道路のうち、高齢者や身体に障がいのある人などの利用が多く見込まれる特定経路のバリアフリー化を図るため、地区ごとに「基本構想」を策定し、具体的な事業計画を検討するとともに、計画のまとまったものから順次事業を実施していくことにしています。

4) 宇治市都市景観形成基本計画※

宇治市都市景観形成基本計画においては、旧大和街道を宇治らしい景観の骨格を形成する要素である『骨格軸景観』として類型化し、旧街道の景観を守り伝えていくことにしています。また、大久保の商業地を『商業地景観』として類型化し、旧街道を活用した景観づくり、商業地景観と歴史的景観の調和、市の南の玄関口としての景観づくりなどを基本的な方針としてまとめています。

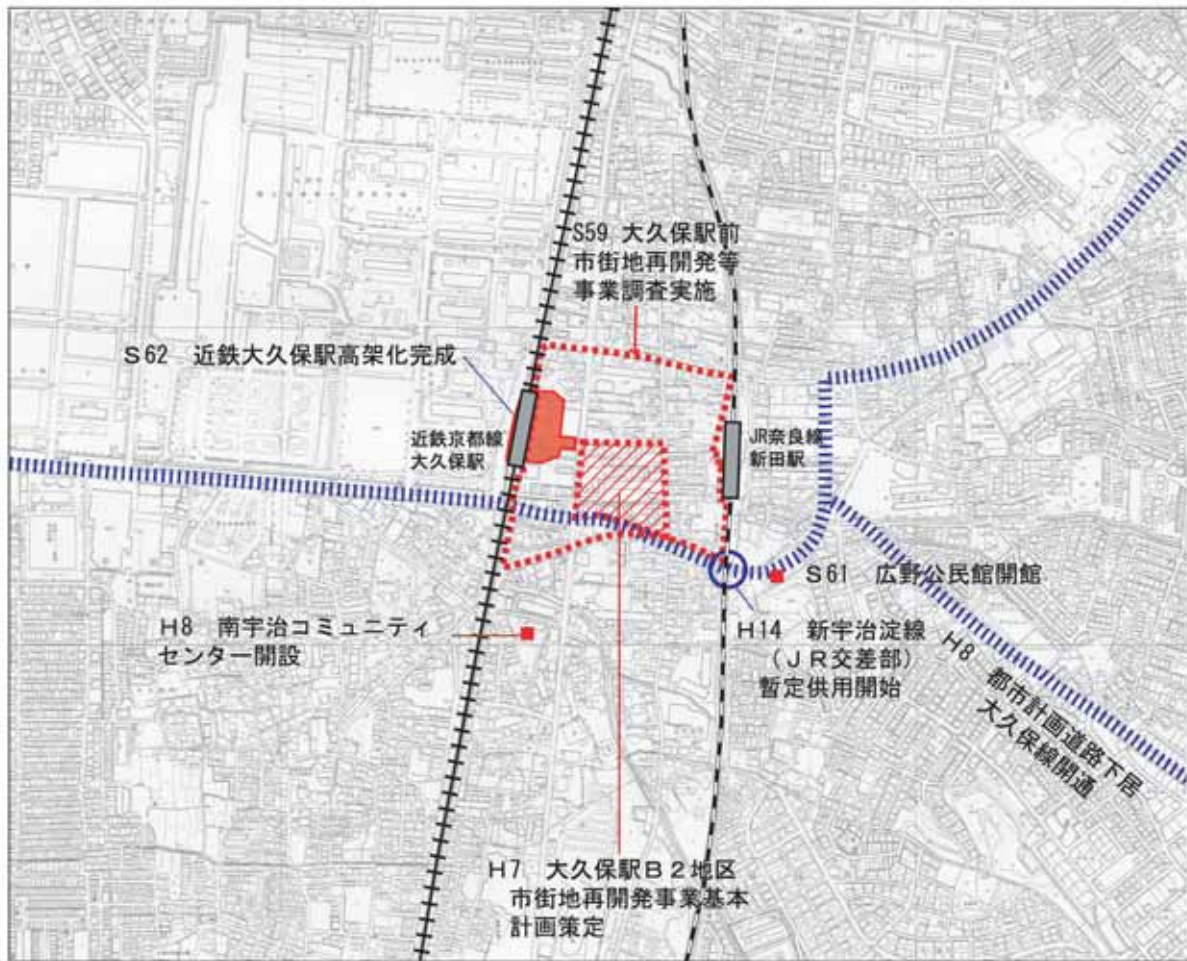
(3) 本地区におけるまちづくりの経緯

これまで、広野町地域整備計画策定や大久保駅前市街地再開発等調査をはじめ、近鉄大久保駅高架化、ＪＲ奈良線高速化・複線化などが行なわれました。

表１－１ 本地区におけるまちづくりの経緯

年度	都市づくり、まちづくりの計画	関連する事項
昭和 49		宇治市総合計画策定
56		府道大久保停車場線（近鉄大久保駅前広場） 都市計画決定
58	広野町地域整備計画策定	
59	大久保駅前市街地再開発等調査（基本 構想）実施	国鉄奈良線電化
60		宇治市第２次総合計画策定
61	大久保駅前市街地再開発等調査（基本 計画・設計）実施	広野公民館開館
62		近鉄大久保駅高架化完成
63		京都国体（第 43 回大会）開催
平成 2		宇治市第３次総合計画策定
7	大久保駅Ｂ２地区※市街地再開発事業 基本計画策定	
8		南宇治コミュニティセンター開設 植物公園開園 都市計画道路下居大久保線開通 新宇治淀線都市計画変更 近鉄大久保駅暫定駅前広場・自動車駐車場 供用開始
9		京都府へ新宇治淀線事業化要望
10	大久保Ｂ２地区市街地再開発準備組合 設立	
11		新宇治淀線（ＪＲ交差部）事業着手
12	大久保Ｂ２地区市街地再開発事業基本 計画案検証及び修正案（土地区画整理 事業案）策定	ＪＲ奈良線高速化・複線化（宇治～新田間） 宇治市第４次総合計画策定
13	大久保Ｂ２地区市街地再開発準備組合 解散	宇治市都市景観条例制定
14		新宇治淀線（ＪＲ交差部）暫定供用開始
15		宇治市都市計画マスタープラン策定
17		宇治市交通バリアフリー全体構想策定

図1-3 本地区におけるまちづくりの経緯図



(4) 整備構想策定までの経緯

本地区におけるまちづくりを引き続き進めるため、整備構想策定に際しては、都市計画マスタープランにおける都市づくりの基本姿勢である「市民と行政が対話し、ともに育む都市づくり」に基づき、一般公募の市民による“大久保まちづくりワークショップ※”を平成16年10月から平成18年1月までの間で9回開催しました。このワークショップでは、現状の評価、課題や解決方策の検討などを行い、「ワークショップの提案書」がとりまとめられました。

大久保まちづくりワークショップからの提案に基づいて、策定委員会（学識経験者、ワークショップ代表、公共交通事業者、行政関係者等で構成。平成17年1月から平成18年9月までの間に8回開催）において検討し、「大久保駅周辺地区整備構想」としてまとめていただきました。また、委員会と並行してワーキング（公共交通事業者、行政関係者で構成）を開催するなど実務者レベルの検討も行いました。

図1-4 大久保駅周辺地区整備構想策定に係る組織図

